

希望者全員を正社員に！ 生活できる賃金を！ 人を増やせ！ TTSに春闘要求を出したぞ！

動労連帯申第8号

2017年2月27日

申し入れ

生活改善、労働条件改善に関して下記の各項目について申し入れるので、3月20日までに団体交渉を開催し誠意ある回答をされたい。

記

1. 希望者は、誰もが社員になれる制度とされたい。
2. 賃金引き上げについて
 - (1) 各職の賃金を時間当たり最低 1,500 円の基準で算定されたい。
 - (2) 各職に住宅手当を支給されたい。
 - (3) 各職に扶養手当を支給されたい。
3. 要員関係について
 - (1) この間会社は要員は足りていると答えて来たが、各事業所における社員数及び充足率を明らかにされたい。
 - (2) 各事業所における定着率を明らかにされたい。
 - (3) 規定の作業人員に満たない状況で作業を実施した事例があるのか明らかにされたい。
 - (4) 事業所における休日出勤の実績、統計を明らかにされたい。
 - (5) 各事業所における年休消化率を明らかにされたい。
 - (6) 籠原事業所における、契約外勤の更新を行わなかった経過を明らかにされたい。
 - (7) ダイ改に対応した人員配置になっているのか明らかにされたい。
 - (8) 今時ダイ改において籠原構内関係の K1 及び日勤勤務の点呼場所を変更した経緯を明らかにされたい。
4. プロパーの養成状況について
5. 労災の多発について
6. 今後の収支見込みについて

地方切り捨てのダイ改弾劾！
3月4日、JRはダイ改を強行しました。首都圏80キロ圏外は金儲けにならないから切り捨て。JRの露骨な金儲け主義、地方切り捨て方針によって、群馬の地方路線は一気に減らされてしまいました。自分の会社の労働者も大切にしない会社は、

ついに公共交通を守る義務すら投げ出し始めています。**労働地獄を何とかしろ！**
TTSにおける低賃金と重労働による要員不足によって、休日出勤と過密労働、そして過労による慢性的な病気や労災が多発し、職場は負

のスパイラルとも言わなければならない状態になっています。低賃金の矛盾が、それを強いているTTSの幹部やJRにはではなく、現場で働く労働者に重くのしかかっています。こんな状態をいつまでも続けることなどできません。このままでは私たちはみんな

倒れてしまいます。**ストライキで闘おう！**
動労連帯高崎は2月27日、左記(要旨)の春闘要求をTTSに提出し、団交を開くことを要求しました。要求のひとつひとつが、汗水垂らして働き、毎日悔しい思いをしている仲間の要求だと思えます。そしてJRやTTSはこのよう

な当たり前の要求すら、聞こうとしないと言ふことも明らかです。だからこそ私たちは、この要求の実現のために、断固としてストライキを辞さず闘いぬく決意です。

今回のストライキには、動労連帯高崎に新たに結集した仲間も決起します。私たちが勝利するためには、さらに多くの仲間が私たちの組合に結集し、ともにストライキに決起することです。私たちが生きるための権利は、私たち自身の闘いによってしか守ることはできません。みなさんともにたちあがりましょう！



3月5日、JR本社〈新宿〉抗議行動、デモに決起